

2023年度
アイラブつくばまちづくり補助事業
活動事例集

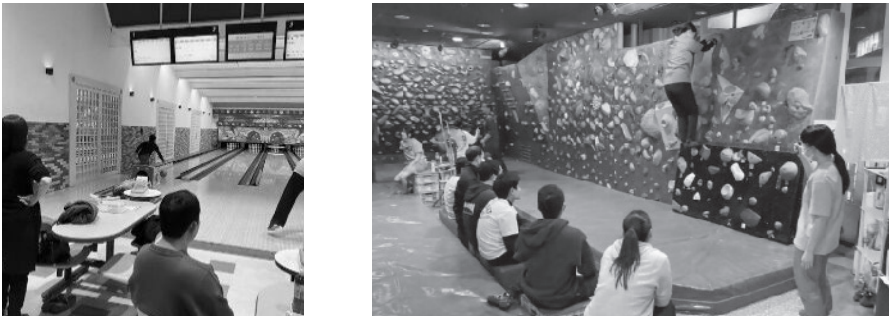


つくば市

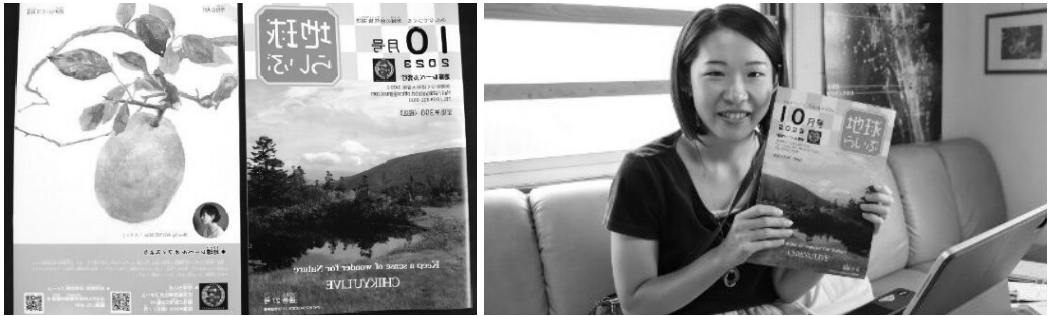
2023年度アイラブつくばまちづくり補助事業活動事例集 目次

- P1 ことばの森ひろば
- P2 MDC 友の会
- P3 つくば市エアロビック普及事業実行委員会
- P4 地球レーベル
- P5 Lens
- P6 けんがくまちづくり実行委員会
- P7 シニア歌声サロン「ドルチェ オンライン」
- P8 桜圏域版社会資源集作成チーム
- P9 産後 TOMO サポ
- P10 EAT and kamiGO 実行委員会
- P11 不登校・多様な学びネットワーク茨城
- P12 花室学楽舎コンサート企画
- P13 洞峰いきもの SDGsの会
- P14 つくばデュプリケートブリッジクラブ
- P15 つくばねかるた会
- P16 とっておきのまちなか音楽会
- P17 つくば市環境マイスターの会
- P18 留学生と地域の市民をつなぐ交流会実行委員会
- P19 世界音楽の旅つくば発
- P20 つくば HSP 自助会
- P21 つくばパドルテニスクラブ
- P22 桜ニュータウンまつり実行委員会
- P23 NPO 法人 GuiNippon Alliance
- P24 七色武士
- P25 親子タッチ・タッチキッズ
- P26 Smile Basketball Club
- P27 わわわやたべや町民会議

団 体 名	ことばの森ひろば
事 業 名	ことばの森ひろば
総事業費	244,271 円
補助金額	150,000 円
担 当 課	健康増進課
団体の活動概要	言語聴覚士の資格を生かし、専門家からのアドバイスや情報交換を行い、子育ての不安や悩みを一緒に解消していきます。孤立した子育てを無くし、産後鬱の防止に努めます。
事業内容	・実施日 4/18、5/16、6/13、7/11、8/8、9/19、10/17、11/14、12/12、1/23、2/13 ※全て火曜日 ・実施場所 市内店舗 ・対象者 0～2 歳児とその保護者、妊婦 ・内 容 「離乳食と子どものごはん」「トイレトレーニング」など毎月テーマを変え、イベントは「夏祭り」「クリスマス会」を行いました。
事業の成果	・参加者数 延べ 79 組 168 人 講座だけでなく、イベントも企画し、親子で楽しめる会になりました。座談会では、長めの質問時間を設け、先輩ママからのアドバイスも取り入れることで、参加者同士の交流が生まれました。参加者からは、「みんなも悩みがあるってわかって、気持ちが楽になった」「毎月リフレッシュになった」などの声が寄せられました。
今後の目標・展開	今後は、2人1組で行うワークなども取り入れ、より自分の気持ちを表現できる場所にしていき、父親の参加増加も目指します。
採択・実践のコメント	参加者同士の交流の場を創出したことを評価し、今後、より多くの方が気兼ねなく参加できる講座・イベントとなることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	MDC 友の会
事 業 名	発達障害のある若者の余暇支援事業
総事業費	230,456 円
補助金額	150,000 円
担 当 課	障害者地域支援室
団体の活動概要	学校を卒業し運動する機会が少ない発達障害のある若者の余暇活動を支援しています。筑波大学教職員の助言を受けながら、スポーツ活動を通して発達障害のある若者が家族とともに地域とつながることを目的とし、障害のあるなしにかかわらず交流することも目指します。
事業内容	・実施日 ①ボルダリング 5/10、5/24、6/14、6/28、7/12、7/26、8/9、8/23、9/13、9/27、10/11、10/25、11/8、11/22、12/13 ※全て水曜日 ②ボウリング 5/28(日)、6/24(土)、7/23(日)、8/26(土)、11/26(日)、12/23(土)、1/28(日)、2/25(日) ・実施場所 ①市内ボルダリング施設、②市内ボウリング施設 ・対象者 発達障害のある若者 ・内 容 学生指導員やボランティアの参加を募り、①を15回、②を8回実施しました。
事業の成果	・参加者数 ①延べ52人、②延べ48人 参加者やその保護者から、参加への喜びと継続参加の希望の声が多く寄せられました。他にもバレーボール公式試合を観戦し、障害のあるなしにかかわらず一緒に応援し交流する機会を設けることができました。
今後の目標・展開	今後はレクリエーション種目の増加を目指します。スポーツ観戦の機会も増やし、課題である障害の有無にとらわれない交流についても取り組んでいきたいです。
採択・実践のコメント	余暇活動だけでなく、障害のあるなしにかかわらず交流の場を提供できたことを評価し、さらに心のバリアフリーが広がることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	つくば市エアロビック普及事業実行委員会
事 業 名	エアロビック体験会
総事業費	63,000 円
補助金額	50,000 円
担 当 課	スポーツ振興課
団体の活動概要	エアロビック普及活動を通して、市民の交流の場の創出、健康づくりに寄与します。また、つくば市が県内及び関東におけるエアロビックの拠点になることを目指し、特色ある街づくりにも貢献します。
事業内容	・実施日 5/28(日)、6/24(土)、7/23(日)、8/20(日)、9/17(日)、10/22(日)、12/3(日) ・実施場所 竹園東小学校 プレイルーム ・対象者 年長から小学4年生程度 ・内 容 筑波大学在学中のトップ選手を講師に招き、子どもを対象にした「キッズエアロ体操」の体験会を7回実施しました。
事業の成果	・参加者数 延べ48人 参加者やその保護者から、「楽しかった」「また実施してほしい」などの感想が寄せられました。今年度の成果発表として、12月9日につくばカピオで行われた「つくば体操フェスティバル」に参加し、演技発表を行いました。
今後の目標・展開	今後も、市内の体育施設を拠点に定期的な活動を実施しながら、イベントで演技発表を行いたいと考えています。
採択・実践のコメント	エアロビック普及活動を通して、交流の場を創出できたことを評価し、今後より多くの市民への普及に努めることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	地球レーベル
事 業 名	季節の自然情報誌「地球らいぶ」
総 事 業 費	407,823 円
補 助 金 額	200,000 円
担 当 課	ジオパーク室
団体の活動概要	2020年に設立し、自然科学教育に関する活動を行っています。自然情報誌や図鑑の発行、専門家がレクチャーする自然観察会を実施し、市民や子どもたちの自然への興味関心を引き出し、郷土愛の深まりや生活視野が広がることを目指しています。
事業内容	・実 施 日 2023 年 4 月～2024 年 2 月 ・実施場所 市内小中学校・図書館、筑波山地域ジオパークに関わる市町村の公共施設 ・対 象 者 つくば市民 ・内 容 季節の自然情報誌「地球らいぶ(A4サイズ、22ページ)」を月 1 回、合計11冊発行し、小中学校や公共施設等に無料配布し、インターネットショップや事務所等で一般販売も行いました。
事業の成果	・定期購読者数 約 30 人、有識者の記事寄稿 26件、読者投稿 24件 有識者に記事を寄稿してもらうことで活躍の場を提供でき、市民との交流も生まれました。読者投稿コーナーを設けることで市民参加型の雑誌となり、大変好評でした。また、市内書店での取り扱いが決まりました。
今後の目標・展開	購読者の満足度は大変高いものの認知度がまだ低いと感じるため、広報方法等を模索し、より多くの市民に届くよう努力していきます。
採択・実践のコメント	購読者の満足度が高いことを評価し、発行を継続することで認知度を高め、より多くの市民に還元できることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	Lens
事 業 名	筑波山麓古民家体験
総事業費	296,499 円
補助金額	150,000 円
担 当 課	周辺市街地振興課
団体の活動概要	地域文化の存続、地域課題解決への貢献、地域の魅力発見を目的に活動しています。古民家体験では、筑波山麓の豊かな自然の魅力を伝えること、年配の方から若い世代へ知恵や技術を紡いでいくことを目指します。
事業内容	・実施日 ①8/26(土)、②12/10(日) ・実施場所 市内古民家 ・対象者 小中学生とその保護者 ・内 容 筑波山麓の古民家で、地域の年配の方の力を借りて、①植物観察、昆虫観察及び採集、科学実験、工作体験、②天体レクチャー及び天体観測、工作体験を行いました。
事業の成果	・参加者数 延べ 116 人(見学者 32 人を含む) 参加者からは、「楽しかった」「来年度も開催してほしい」という声が多く寄せられ、様々な古民家体験を通して、筑波山麓の自然の魅力を伝えることができました。運営の学生は、釜焚きや竹の流しそうめんの準備などを通して、年配の方から知識と技術を受け継ぐことができました。
今後の目標・展開	今後は余裕を持ったスケジュール設定で運営の負担を軽減し、事業を計画・運営していきます。
採択・実践のコメント	古民家体験により、地域の方々とのつながりを創出できたことを評価し、今後も継続して開催し、地域の魅力を世代間でつないでいくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	けながくまちづくり実行委員会
事 業 名	けながくハロウィン
総事業費	184,165 円
補助金額	110,000 円
担 当 課	市民協働課
団体の活動概要	地域に根差したイベントを開催することによって、研究学園駅周辺地域において活動する団体がゆるくつながり合い、住民・企業・行政とも連携していくコミュニティづくりを目指しています。
事業内容	・実 施 日 10/29(日) ・実施場所 研究学園駅周辺、学園の杜公園 ・対 象 者 研究学園、学園の森、学園南周辺を中心としたつくば市民 ・内 容 トリックオアトリート、仮装コンテスト、ハロウィンゴミ拾い、ハロウィンクラフト、交通安全クイズラリーを行いました。
事業の成果	・参加者数 1,000 人程度 地域の賑わいを創出し、住民と地域の企業及び店舗の交流を生み出すことができました。多様な団体の協力、多くの企業及び店舗の協力をいただき、連携が深まりました。
今後の目標・展開	全ての企画で来場者をお断りせざるを得ない状況となったため、連携団体やボランティアスタッフの増加による対応を目指します。収入面について、個人や店舗からの出店料徴収や、企業及び店舗への協賛金依頼も検討していきたいと考えています。
採択・実践のコメント	認知度の高いイベントなったことを評価し、今後も研究学園地区のコミュニティづくりの核となることを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	シニア歌声サロン「ドルチェ オンライン」
事 業 名	歌声サロン体験会
総 事 業 費	159,310 円
補 助 金 額	126,000 円
担 当 課	地域包括支援課
団体の活動概要	毎月第3土曜日に1日2回、オンラインで音楽セッションを配信し、外出困難や交通弱者のシニアが社会とのつながりを持てる活動を継続しています。対面での交流が復活してきたため、地域のシニアが気楽に参加できる対面の音楽セッションを実施し、生きがいや認知症予防のための居場所づくりに寄与します。
事 業 内 容	・実 施 日 10/6(金) ・実施場所 小野川交流センター 多目的室 ・対 象 者 シニア(年齢制限の設定なし) ・内 容 認知症予防講座「人生100年時代を元気に生きる！(筑波大学付属病院臨床心理士 金田裕子先生)」と、音楽サロン体験会「歌って奏でて健康に♪」を開催しました。
事業の成果	・参加者数 24 人 定員いっぱいの申込みがあり、認知症予防について理解を深め、歌・ダンス・合奏などの音楽セッションを対面で体験する機会を提供できました。
今後の目標・展開	音楽療法士という専門性を生かし、新型コロナウイルス感染症の流行により試行錯誤を続け土台を固めることができたオンラインセッションと、地域における対面のセッションで、シニアが気軽に参加できる音楽活動の場を広く伝えていきたいと考えています。
採択・実践 のコメント	音楽を通して居場所づくりができたことを評価し、今後もシニアの方が気兼ねなく参加できる音楽活動の場を提供することを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	桜圏域版社会資源集作成チーム
事 業 名	桜圏域版社会資源集の発行と関係住民への頒布
総 事 業 費	450,000 円
補 助 金 額	150,000 円
担 当 課	地域包括支援課
団体の活動概要	桜圏域内の地域活動の場(団体、クラブ、サークル等)や人的資源、公的サービス等の情報を社会資源集として冊子化し、地域の高齢者等に配布して、外出やサービスの利用につなげることを目的に活動しています。
事 業 内 容	・実 施 日 2023年4月から翌年1月までに、チーム会議を14回実施、2024年1月に住民へ頒布 ・実施場所 竹園交流センター 大会議室(チーム会議) ・対 象 者 桜圏域内の高齢者等 ・内 容 地域活動の場にデータカードを配布し、回収したデータの整理・加工を行いました。付加情報を含めて編集後、印刷した冊子を、桜圏域全域の区長、民生委員、掲載施設・団体、交流・窓口センター、桜地域包括支援センター等に配布しました。
事業の成果	・発行部数 1,500 部 筑波大学生との共同作業により、質の高い資源集を作成できました。チーム会議の積み重ねで、計画どおりに発行・頒布を行い、桜圏域全域の高齢者等に対し、外出やサービスの利用につながる情報を提供できました。
今後の目標・展開	住民や団体からの問合せにはチーム全体で対応し、社会資源集の周知と利用促進を進めるとともに、電子版も利用できるように掲載団体等に対しホームページ掲載の依頼を考えています。
採択・実践のコメント	社会資源集の作成により、地域の高齢者のひきこもり防止につながったことを評価し、今後掲載情報に変更があっても電子版で最新情報を更新できるようになることを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	産後 TOMO サポ
事 業 名	フィンランド式産後おはなし会
総 事 業 費	413,114 円
補 助 金 額	150,000 円
担 当 課	健康増進課
団体の活動概要	2017年から、フィンランドの子育て支援「ネウボラ」を参考に、妊娠・出産・育児がその後の人生のハードルになるのではなく、パラダイムシフトになることを目指し、男女ともに、社会全体で子育てを支える「チーム育児」の仕組みづくりを行っています。
事 業 内 容	・実 施 日 ①6/24、8/19、9/23、11/11、2/3、②12/16、③3/2 ※全て土曜日 ・実施場所 ①オンライン、②市内子ども関連施設、③子育て総合支援センター及びオンライン配信 ・対 象 者 プレママ・パパ、0～5 歳の子どもがいる夫婦 ・内 容 ①フィンランド式産後おはなし会・プチ講座、②クリスマス会、③講演会「教えて！汐見先生(東京大学名誉教授 汐見稔幸先生)」を行いました。
事業の成果	・参加者数 ①延べ31人、②8人、③113人 アンケート結果から、産後の孤独感の解消、パートナーシップの改善、未来への希望を持つ等の成果がありました。
今後の目標・展開	他団体との共催で男性参加を促します。地域での子育て支援等に関わる団体と対面イベントやマルシェも検討していきます。
採択・実践 のコメント	参加者の満足度が高いイベントとなっていることを評価し、今後、社会全体で子育てを支える仕組みづくりの一端を担っていくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	EAT and kamiGO 実行委員会
事 業 名	EAT and kamiGO
総 事 業 費	265,957 円
補 助 金 額	150,000 円
担 当 課	周辺市街地振興課
団体の活動概要	「上郷」が自立し続けるために経済循環を促進することを目的とし、中心部に住むつくば市民に対し「上郷」の魅力を伝え、誘客促進や経済波及効果を目指します。
事業内容	・実施日 ①5/27(土)、28(日)、②3/9(土) ・実施場所 ①つくばセンタービル、②川口公園 ・対象者 つくば市民 ・内 容 ①つくばの中心部で、上郷の PR ブースやファーマーズマーケットを開催しました。②上郷に足を運んでもらい、4つのテーマ「音楽フェス」、「農業体験」、サイクルジャーニーをはじめとする自転車での「周遊企画」、「グルメ企画」で、10以上のイベントを開催しました。
事業の成果	・参加者数 ①2,500 人、②500 人 ①「つくばパンまつり」との同日開催により、つくば市の中心部で多くの住民に上郷の魅力を伝えることができました。②上郷へ来訪するきっかけを提供でき、地域活性化につなげることができました。また、SNS を駆使して情報発信することで、上郷の認知度・魅力度向上にも寄与しました。
今後の目標・展開	継続的に実施することで、上郷の魅力を伝えていくとともに、住民同士の交流を推進し、地域活性化に取り組みます。
採択・実践のコメント	地域活性化に寄与できたことを評価し、今後さらに地域住民の交流が盛んになり、つくば市の魅力発信へつながることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	不登校・多様な学びネットワーク茨城
事 業 名	不登校・多様な学び つながる‘縁’日 2023(県南)
総 事 業 費	235,062 円
補 助 金 額	200,000 円
担 当 課	学び推進課
団体の活動概要	茨城県内の不登校に関わる民間支援者のネットワークです。支援者同士のつながり、子ども同士のつながり、学校・行政・地域・社会と連携して子どもたちにとってより良い環境をつくることを目的に活動しています。
事 業 内 容	・実 施 日 10/21(土) ・実施場所 桜総合体育館と隣接する流星台プレイパーク ・対 象 者 児童や生徒と保護者、教育や福祉機関などで児童や生徒に関わる方、その他関心のある方 ・内 容 民間支援団体及び教育委員会による相談ブース・体験ブース、子どもによる企画ブース、不登校経験者による座談会・ライブ、茨城県教育庁義務教育課による講演会等を開催しました。
事業の成果	・参加者数 599 人(大人 377 人、子ども 222 人)、参加団体数 48 団体 参加者からは「じっくり相談できて良かった」、参加団体からは「昨年以上にしっかりと相談に乗ることができた」という声が聞かれました。また、「公民で力を合わせられて良かった」という声をいただき、不登校支援において重要な公民両方からの支えを家庭へ届けることができました。
今後の目標・展開	公立小中学校だけでなく、私立小中学校や公立高校在籍家庭へ直接情報を伝えられるよう予算を確保していきたいです。資金確保について、様々な企業や人とのつながりを広げながら、先方にとっても連携の意義が出るように活動していきたいです。
採択・実践のコメント	参加者数も増え、認知度が高いイベントとなったことを評価し、今後もイベントを継続していくことにより、不登校に関わる方たちのプラットフォームとなることを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	花室学楽舎コンサート企画
事 業 名	尺八とピアノの夏休みライブ
総 事 業 費	262,247 円
補 助 金 額	50,000 円
担 当 課	文化芸術課
団体の活動概要	つくば市出身の作曲家・門田和峻と共に活動する演奏家たちのコンサートを、つくば市民、特に子どもたちに聴いていただくことを目的として企画しています。
事 業 内 容	・実 施 日 8/11(金・祝日) ・実施場所 つくば文化会館アルス ・対 象 者 子どもとその家族・学生・祖父母世代 ・内 容 尺八奏者と作曲家のピアノとシンセサイザーによる「日本からの旋律と時間」と題し、日本の古曲から昭和歌謡曲、現代のアニメ曲、オリジナル曲など8曲を演奏しました。
事業の成果	・参加者数 56 人(一般40人、学生以下13人、招待3人) 市広報紙に掲載することで、参加者を広く募ることができました。邦楽にピアノの音色が合うこと、日本の歌謡曲やアニメ曲に尺八の音色が合うことを、子どもから高齢者までの幅広い世代で共に体感することができました。
今後の目標・展開	市広報紙を見てきてくださった方から、「こんなコンサートがあったなら前から来たかった」との声をいただきました。今後、SNS での告知を図るとともに、SNS を使わない世代の方にも周知できるよう工夫し、将来的には市広報紙に頼らずに定期開催を目指します。
採択・実践 のコメント	幅広い世代が共に音楽を楽しむ機会を創出したことを評価し、定期開催することにより、より多くの市民に還元できることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	洞峰いきもの SDGsの会
事 業 名	洞峰自然教室
総 事 業 費	217,796 円
補 助 金 額	150,000 円
担 当 課	環境保全課
団体の活動概要	2022 年に設立し、幅広い世代で活動しています。洞峰公園と隣接するペデストリアンデッキに生息する生物の多様性を保全することを目的として、定期的な公園の美化活動、専門家を交えた動植物の観察会、公園内の希少種の保護、自然環境教育を行っています。
事 業 内 容	・実 施 日 ①5/14(日)、6/4(日)、7/9(日)、7/16(日)、9/3(日)、9/12(火)、10/1(日)10/15(日)11/1(日)、②7/15(土)、9/20(水)、9/21(木)、10/3(火)、4(水)、③11/12(日) ・実施場所 洞峰公園及び隣接するペデストリアンデッキ ・対 象 者 幼児～大学生・成人(シニア含む) ・内 容 専門家を招き、①植物・樹木観察会、②洞峰沼の生き物観察会を実施しました。③どんぐりクエストでは、公園内でどんぐりを探し、手芸材料と組合せてオリジナルグッズを作成しました。
事業の成果	・参加者数 延べ 220 人 専門家の指導を受けることで、生物多様性に関する具体的な知識を持つ市民が増加し、生物多様性保全への意識改革に寄与しました。
今後の目標・展開	公園環境を保全するために、特定外来動植物に関する観察会を実施し、親子で参加しやすい環境を整えることも目指します。
採択・実践 のコメント	多くの参加者に生物多様性の理解を深める機会を提供したことを評価し、今後のさらなる生物多様性保全活動に期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	つくばデュプリケートブリッジクラブ
事 業 名	ブリッジの街つくばを目指して
総事業費	47,696 円
補助金額	37,000 円
担 当 課	地域包括支援課
団体の活動概要	38 年前に創設以来、マインドスポーツとして世界中でプレイされているコントラクトブリッジを楽しんでいます。軽度認知障害対策に有効と言われるブリッジを通して、高齢者の脳活やメンタルヘルスの向上を目指します。
事業内容	・実施日 ①8/12・26、9/9・23 ※土曜日 ②10/14・28、11/11・25、12/9、1/13・27 ※土曜日 ③11/8・15・22、12/6・13・20、1/10・17・23、2/7 ※1/23(火)以外水曜日 ④10/5・12、11/9、12/7、1/11・25、2/1・8 ※木曜日 ・実施場所 ①②竹園交流センター、③オンライン、④市内店舗(2か所) ・対象者 ブリッジに興味がある方 ・内 容 ①ブリッジ体験会、②ブリッジサロン、③ブリッジ入門講座、 ④各店舗に集合しサークル活動を行いました。
事業の成果	参加者数 ①延べ 13 人、②延べ 11 人、③延べ 40 人、 ④ブリッジサークル2つが誕生し、延べ 32 人が参加 市広報紙への掲載により多くの参加者を募ることができ、目標とする2つのブリッジサークルを発足することができました。
今後の目標・展開	本事業を継続し、企業や研究所に対して出張講座を提案するなど、新たな展開を図りたいです。
採択・実践のコメント	高齢者のメンタルヘルス向上を目指したことを評価し、今後認知度を高め、高齢者を始め幅広い世代の居場所の一つとなっていくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	つくばねかるた会
事 業 名	百人一首の世界に触れてみよう！競技かるた体験会
総 事 業 費	175,356 円
補 助 金 額	150,000 円
担 当 課	文化芸術課
団体の活動概要	2023 年に発足し、小・中学生を対象に、百人一首や競技かるたを通して子どもたちの成長や居場所づくりに寄与することを目的として活動しています。一般社団法人全日本かるた協会に所属し、日々の活動の様子は SNS で発信しています。
事 業 内 容	・実 施 日 10/7(土) ・実施場所 つくばカピオ 和室 ・対 象 者 小学生 ※希望があればつくば市以外からも受け入れます。 ・内 容 和歌クイズ、体験ワークショップ(源平戦)、筑波大学歌留多部員へのインタビュー、筑波大学歌留多部員によるミニ・エキシビジョンマッチを行いました。
事業の成果	・参加者数 小学生21人、保護者16人 定員以上の申込があり、実際に札を取る楽しさを伝えることができました。競技かるたを練習できる場があることを広く周知することができ、小学生だけでなく、中学生以上の方からの問合せが増えました。
今後の目標・展開	性別や年齢を問わず練習や試合に参加できることが競技かるたの魅力のひとつであるため、今後は中学生以上の参加者の受け入れも積極的に検討し、世代間交流にも注力していきます。
採択・実践 のコメント	体験会を通して競技かるたを広く周知できたことを評価し、今後、子どもたちの居場所づくりや世代間交流に寄与していくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	とっておきのまちなか音楽会
事 業 名	第2回とっておきのまちなか音楽会
総 事 業 費	212,366 円
補 助 金 額	199,000 円
担 当 課	障害者地域支援室
団体の活動概要	2023 年に設立し、障害や様々な特性がある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、心のバリアフリーを目指す音楽会を開催します。地域(特につくば駅周辺)の活性化と交流を目的として活動し、多様な音楽と交流が行き交うバリアフリーのまちづくりを目指します。
事 業 内 容	・実 施 日 9/17(日) ・実施場所 つくばセンター広場 1 階 ・対 象 者 全ての方 ・内 容 つくばセンター広場2階で実施する別のイベントと同日開催し、市内にある2つの障害者団体を含む、合計9つの団体が出演する音楽会を開催しました。
事業の成果	・参加者数 約200人 障害や様々な特性がある人もない人も一緒に音楽を楽しむことができました。音楽を通してありのままの個性を表現し、個々の生の尊さを感じることができました。市内外から参加者が集い、つくば駅周辺の活性化と交流に貢献しました。
今後の目標・展開	多様な出演者を迎えて心のバリアフリーを図り、参加者の増加も狙っていきたいです。残暑が厳しかったため、開催時期を検討します。
採択・実践 のコメント	音楽を通して個性を表現する機会を創出できたことを評価し、今後、参加者を増やすことにより、さらに地域の活性化や交流につながることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	つくば市環境マイスターの会
事 業 名	筑波山すごろく
総 事 業 費	190,241 円
補 助 金 額	150,000 円
担 当 課	環境政策課
団体の活動概要	2005年に始まった「つくば市環境マイスター育成事業」で環境マイスターに認定された有志が集まり、2015年から活動しています。里山ウォーク、観察会や見学会、学校への授業協力、イベントや放課後子ども教室等における筑波山関連環境教育など、環境教育活動を行っています。
事 業 内 容	・実 施 日 ①11/4(土)、11/5(日)、②2/24(土)、③12月～3月 ・実施場所 ①筑波交流センター、②つくばジオミュージアム ・対 象 者 市民、主に筑波地域住民 ・内 容 ①つくば市民文化祭及び②つくばジオミュージアム特別企画において「筑波山すごろく」体験、③「筑波山すごろく」のクイズ問題と教材の改訂作業を行いました。
事業の成果	・参加者数 ①展示見学 102 人、「筑波山すごろく」体験 59 人、②「筑波山すごろく」体験 44 人 子どもから高齢者まで、一緒にクイズに挑戦しすごろくを楽しむことができました。
今後の目標・展開	今後もクイズ・すごろく盤・対応面などの見直しを続け、筑波山すごろくを通して、希望する多くの市民へ自然・生物多様性・地質・歴史・文化も盛り込んだ体験を提供できるように努めます。
採択・実践 のコメント	すごろくを楽しみながら筑波山への知識を深める機会を提供したことを評価し、今後、つくば市認知の一つの手段となっていくことを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	留学生と地域の市民をつなぐ交流会実行委員会
事 業 名	留学生と地域の市民をつなぐ交流会～英語が話せなくても国際交流～
総 事 業 費	134,000 円
補 助 金 額	100,000円
担 当 課	国際都市推進課
団体の活動概要	筑波大学の留学生と地域のシニア世代の市民が少グループで交流します。留学生は学生生活や母国等についての紹介、市民はつくばの文化等についての紹介を行い、小規模ながらも双方向で交流を深めることを目指します。
事 業 内 容	・実 施 日 9/21(木)、10/10(火)、10/25(水)、11/29(水)、12/19(火)、1/10(水)、1/19(金)、2/7(水)、2/16(金) ・実施場所 筑波大学大学会館会議室 ・対 象 者 留学生及びつくば市民 ・内 容 半年間で9回の交流会を開催し、双方の紹介、簡単なゲーム、ランチミーティングにより、交流を深めました。
事業の成果	・参加者数 留学生延べ 21 人、市民延べ 30 人 筑波大学で国際交流業務に長く携わった者がネットワークを活用して12 か国の留学生の参加を募り事業を進めることができました。
今後の目標・展開	参加者の漸増と開催時間帯や対象世代などの課題に取り組み、広報活動も含め継続的な事業展開へ向けた運営を目指します。
採択・実践 のコメント	国際交流が深まったことを評価し、今後はより多くの市民を対象とした運営を行い国際交流が盛んなまちにつながることを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	世界音楽の旅つくば発
事 業 名	～ウクライナの音楽とクリスマス～We Love Music 音楽会
総事業費	293,000 円
補助金額	133,000円
担 当 課	国際都市推進課
団体の活動概要	2020年から、主に市内の留学生や外国人研究者等に依頼して出身国の音楽を紹介する無料オンライン講座を開催し、動画配信しています。世界の多様な音楽や文化を知ること、共感や平和への思いを深めることを目的としています。4月に開催したウクライナチャリティ音楽会をきっかけに、市内のウクライナ人支援の活動も始めました。
事業内容	・実 施 日 12/16(土) ・実施場所 つくば文化会館アルス ・対 象 者 つくば市民 ・内 容 ウクライナ人留学生による「ウクライナのクリスマス」の紹介、ウクライナ避難民音楽家と茨城県で活躍する女性合唱団によるウクライナ音楽及びクリスマス曲の演奏を行いました。
事業の成果	・参加者数 入場者数81人、出演者数12人 参加者からは、「音楽の喜び、幸せと平和への祈りを感じた。ウクライナの皆さんをサポートするイベントの意義は大きいと思う。」「ウクライナへ親しみを感じ、支援したい気持ちになった。」などの感想が寄せられました。
今後の目標・展開	今後も、言語による隔たりを越えて感動を分かち合える音楽を通して、さらに多くの方々との共感と支援の輪をつなげていきたいです。
採択・実践のコメント	多くの参加者にウクライナ音楽に触れる機会を提供したことを評価し、今後も音楽活動を継続し、共感や平和への思い、支援の輪が広がっていくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	つくば HSP 自助会
事 業 名	つくば HSP 自助会
総 事 業 費	94,385 円
補 助 金 額	90,000 円
担 当 課	健康増進課
団体の活動概要	日本人の約5人に1人の割合で存在するといわれる HSP(敏感で繊細、環境感受性の高い人)を対象に、自助会を実施しています。ジャッジや評価のない会話から共感や安心感を体験することで、日々の生活に対する困難感覚を和らげることを目指しています。
事 業 内 容	・実 施 日 ①10/14、11/11、②1/13、2/10 ※全て土曜日 ・実施場所 ①つくばスタイル館、②つくば市役所コミュニティ棟会議室 ・対 象 者 つくば市民や県南地域の住民 ・内 容 各回、HSP の共通認識の確認、参考図書の読み合わせ、ロールプレイ(2人 1 組になり、話役と聞き役を決めて時間内で話し、感想を伝え合う。)を実施しました。
事業の成果	・参加者数 延べ 21 人 健康増進課の協力により、保健センター等公的な場所にチラシを配布できるようになり、参加者が増えました。参加者からは、「自己肯定感が高まった」、「共感の場で安心した」などの感想が寄せられました。
今後の目標・展開	より広報を行い、必要な方へ会の存在を知っていただく機会を増やしていきます。また、講師を招聘し、HSP に関する知識を深める機会を持つことで、活動内容の更なる充実を図ります。
採択・実践のコメント	HSP の方が自己肯定感や安心感を得られる場を提供していることを評価し、今後は広報や活動内容の充実を図り、参加者が日常生活を送る上での手助けとなる会に発展していくことを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	つくばパドルテニスクラブ
事 業 名	パドルテニスを楽しもう
総 事 業 費	142,891 円
補 助 金 額	100,000 円
担 当 課	スポーツ振興課
団体の活動概要	パドルテニスは、室内の既存のコートで実施できます。ラケットが小さくコートも狭いため、身体への負担が少なく、性別や年齢を問わず気軽に始められるスポーツです。中高年を中心とした健康促進や仲間づくりに寄与することを目的に活動しています。
事 業 内 容	・実 施 日 11/21(火) ・実施場所 つくばカピオ アリーナ ・対 象 者 つくば市在住・在勤の方 ・内 容 日本パドルテニス協会本部から講師を招き、パドルテニスの歴史や効用についての説明後、実習を行いました。
事業の成果	・参加者数 40 人 講師の指導により、レベルが高く、初心者にも親しみやすい体験会となりました。平日の開催でしたが多くの参加があり、88歳の方をはじめシニアの参加が多かったにもかかわらず、怪我もなく楽しんでいただけました。
今後の目標・展開	認知度の低いパドルテニスの普及・浸透のために、体験会を重ねていきたいです。中学生・高校生の参加も募り、4世代パドルテニス体験会の実施を目指します。
採択・実践 のコメント	体験会を開催することでパドルテニスを知るきっかけを作ったことを評価し、今後は、中高年を中心とした健康促進や仲間づくりに加え、多世代間交流に寄与することも期待します。
活動状況写真	

団 体 名	桜ニュータウンまつり実行委員会
事 業 名	第2回桜ニュータウンまつり
総事業費	509,041 円
補助金額	150,000 円
担 当 課	市民協働課
団体の活動概要	2022 年に設立し、住民提案型の文化的イベントや盆踊りなど内容を発展させながら、桜ニュータウンまつりの運営を行っています。
事業内容	・実施日 9/30(土)、10/1(日) ・実施場所 広岡交流センター、桜ニュータウン内中央公園 ・対象者 桜ニュータウン、上広岡や下広岡等の近隣住民 ・内 容 バザー販売、模擬店販売、盆踊り、ビンゴ大会、グランド・ゴルフ大会、ステージ発表を開催しました。
事業の成果	・参加者数 ビンゴ大会 500 人、グランド・ゴルフ 23 人、ステージ発表 150 人 昨年度より 7 割増の参加となりました。まつりを楽しんでもらうにとどまらず、まち全体の活力や団結力、災害時の共助力等の強化にもつながったと思います。今年度は、夜の見回りやごみの片づけ、広報活動など、自治会の協力を得ることもできました。
今後の目標・展開	今後は、自治会からの財政的な支援も得ながら、近隣区会の参加も促し、桜ニュータウンまつりを継続的に開催できる方策を模索していきます。
採択・実践のコメント	イベントをきっかけに多世代間の交流やまち全体の活力が高まったことを評価し、今後も継続的に開催し、コミュニティの輪がさらに広がっていくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	NPO 法人 GuiNippon Alliance
事 業 名	相互理解サッカー大会
総 事 業 費	95,233 円
補 助 金 額	50,000 円
担 当 課	国際都市推進課
団体の活動概要	2019 年に設立し、教育、文化、芸術、スポーツ、環境保護などに関する活動を行っています。異なる背景を持つ人々の参加を募り、サッカー大会を通して、相互理解、平和、寛容の基盤を築くことを目指します。
事 業 内 容	・実 施 日 2/10(土) ・実施場所 つくばウェルネスパーク ・対 象 者 つくば市民 ・内 容 アフリカ、タジキスタン、ベトナム、日本(2チーム)の計5チームで、リーグ戦を行いました。
事業の成果	・参加者数 チーム員 50 人(10 人×5チーム) - コミュニティ(チーム員の家族や友人など)65 人 過去 2 回の大会経験を活かし、3回目の大会を開催することができました。コミュニティ間の相互理解を生み出し、社会的一体性を達成することができました。
今後の目標・展開	サッカー大会を成功させるため、綿密に計画を立て、段階的に準備を進めるよう努めます。
採択・実践 のコメント	サッカー大会を通じて、異文化に触れ相互理解の機会を創出したことを評価し、今後は、十分な広報期間を設けて広く市民の参加を募り、地域住民も含めた交流の場となることを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	七色武士
事 業 名	どんど焼き 2024
総 事 業 費	571,735 円
補 助 金 額	200,000 円
担 当 課	文化財課
団体の活動概要	日本の伝統行事及び伝統文化の継承を目指して活動しています。35 年間継続している小田のどんど焼きは、運営陣の高齢化のため、2020 年から七色武士が引き継ぎました。
事 業 内 容	・実 施 日 1/20(土) ・実施場所 小田城跡歴史ひろば ・対 象 者 つくば市民及び周辺住民、すべての方 ・内 容 無病息災や五穀豊穡を願って、お正月に飾った松飾りやしめ縄を、竹やわらで作った「やぐら」と共に燃やしました。
事業の成果	・参加者数 約 3,500 人 無料の地域広告媒体、有料のプレスリリースにも取り組み、昨年度から大きく参加者数が増加しました。
今後の目標・展開	今後は、更なるイベント広報、協力者・協力企業の増加を目指します。どんど焼きで有名なアーティスト招聘による動員増加、夜の花火、小田城を舞台とした景観づくり、飲食ブースの充実化を図ります。小田城跡歴史ひろばの活用、小田をはじめ近隣地域への貢献も視野に入れ、地域の文化や歴史に触れる機会を創造し継承していきたいと考えています。
採択・実践 のコメント	市内外に広く周知することができていることを評価し、今後も継続して開催し、近隣地域へ還元できる伝統行事となっていくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	親子タッチ・タッチキッズ
事 業 名	親と子の運動遊び タッチ
総 事 業 費	161,408 円
補 助 金 額	150,000 円
担 当 課	スポーツ振興課
団体の活動概要	親子タッチは、1995 年から、市内の未就園児とその保護者を対象に活動を続けています。筑波大学名誉教授を講師に迎え、マット運動、音楽やリズムに合わせて体を動かす運動、G ボールやその他道具を使った運動を行っています。2023 年から、就園児を対象としたタッチキッズの活動も開始しました。幼少期から体を動かすことの楽しさや良さを味わってもらうため、親子タッチとタッチキッズの体験会を実施します。
事 業 内 容	・実 施 日 2/4(日) ①親子タッチ、②タッチキッズ ・実施場所 筑波大学中央体育館 ・対 象 者 ①未就園児(0～3歳程度)とその保護者 ②就園児(4～6歳程度)とその保護者 ・内 容 ①と②の体験会の間に、①と②の交流の時間、補助スタッフである筑波大学体操部員の演技発表の時間を設けました。
事業の成果	・参加者数 ①14 組 45 人、②20 組 53 人 対象年齢に応じて運動強度を変え、多種多様な器具を使って幅広い運動を親子で楽しむことができました。体操部員のダイナミックで躍動的な演技を見て、高揚感や感動を味わうことができました。
今後の目標・展開	市内の親子のために、継続的に自主運営できるよう努めます。体験会での課題は、メンバーで話し合い、検討していきます。
採択・実践 のコメント	幼少期における多様な運動の機会を提供したことを評価し、今後も継続して幼少期から体を動かすことの楽しさを広げていくことを期待します。
活動状況写真	

団 体 名	Smile BasketBall Club
事 業 名	バスケットを通して、障害のある人の繋がりを増やしたい
総 事 業 費	271,942 円
補 助 金 額	199,000 円
担 当 課	障害者地域支援室
団体の活動概要	2011 年から、茨城県で唯一の知的障害のある人たちのバスケットボールチームとして活動しています。知的障害のある子どもから大人まで約 30 名が所属し、市内で定期的に練習し、大会にも出場しています。知的障害のある方やその家族、バスケットボールが好きな方を対象に、月1回体験会を開催します。
事 業 内 容	・実 施 日 ①11/19、②1/21、③2/18 ※全て日曜日 ・実施場所 ①②石岡特別支援学校、③つくば特別支援学校 ・対 象 者 ①②一般チーム、③つくば市内の障害者施設の方 ・内 容 ①②は練習試合、③は練習後、知的障害を考慮しながらゲームを行い、参加者同士が交流を深める時間も確保しました。
事業の成果	・参加者数 ①19 人、②12 人、③14 人 ①②では、一般チームが Smile チームの実力に驚いていました。2回目の練習試合では1回目よりも親密となり、技術指導も受けられました。③では、初めてバスケットをする子が多数いましたが、楽しんで参加していました。支援学校卒業後久しぶりの再会となり、交流を深められました。
今後の目標・展開	次回は年齢や技術レベルを細かく設定して募集をかけたいです。バスケットを通して障害者理解が広がるような環境を整えていきます。
採択・実践 のコメント	一般チームの障害者理解や参加者同士の交流を深める機会となったことを評価し、今後は、広く周知し、支援学校在学学生も含め知的障害の方が参加できる体験会となることを期待します。
活動状況写真	 

団 体 名	わわわやたべや町民会議
事 業 名	伊賀七座第10回公演「クリスマス伊賀七 vol.4」
総 事 業 費	193,182 円
補 助 金 額	148,000 円
担 当 課	周辺市街地振興課
団体の活動概要	2019 年に創立以降、「からくり伊賀七(江戸時代の名主、発明家)」をシンボルに、谷田部地区の市街地活性化を目的として、寄合所活動や地区内商店ブランド化活動、イベント活動等を行ってきました。冬の恒例イベントである「クリスマス伊賀七」の公演を通じて、地域住民の交流を図ります。
事 業 内 容	・実 施 日 12/9(土) ・実施場所 谷田部内町中央生活改善センター ・対 象 者 子どもから高齢者までの地域及び周辺住民 ・内 容 谷田部落第一代藩主細川興元公や細川ガラシャ、からくり伊賀七、町民が活躍する内容で、戦の絶えない世を嘆き平和と愛を訴える作品となりました。中学生が子役を演じ、地域の協力を得て自主制作したアニメーションも上映しました。
事業の成果	・参加者数 入場者 40 人、関係者 25 人、計 65 人 参加者からは、「涙あり笑いありの内容に満足」、「平和の大切さがよく伝わった」等の声が寄せられました。地元企業から、企業会場での公演実施要望がありました。
今後の目標・展開	地域の恒例イベントになりつつある「クリスマス伊賀七」公演を継続し、要望があった地元企業会場での公演実施も視野に入れていきます。
採択・実践 のコメント	公演がコミュニティづくりの一助を担っていることを評価し、今後は地元企業とも協力しさらにコミュニティが活性化されることを期待します。
活動状況写真	 

アイラブつくばまちづくり補助事業一覧

ページ	団体名	補助額
	事業名	担当課
1	ことばの森ひろば	150,000 円
	ことばの森ひろば	健康増進課
2	MDC 友の会	150,000 円
	発達障害のある若者の余暇支援事業	障害者地域支援室
3	つくば市エアロビック普及事業実行委員会	50,000 円
	エアロビック体験会	スポーツ振興課
4	地球レーベル	200,000 円
	季節の自然情報誌「地球らいぶ」	ジオパーク室
5	Lens	150,000 円
	筑波山麓古民家体験	周辺市街地振興課
6	けながくまちづくり実行委員会	110,000 円
	けながくハロウィン	市民協働課
7	シニア歌声サロン「ドルチェ オンライン」	126,000 円
	歌声サロン体験会	地域包括支援課
8	桜圏域版社会資源集作成チーム	150,000 円
	桜圏域版社会資源集の発行と関係住民への頒布	地域包括支援課
9	産後 TOMO サポ	150,000 円
	フィンランド式産後おはなし会	健康増進課
10	EAT and kamiGO 実行委員会	150,000 円
	EAT and kamiGO	周辺市街地振興課
11	不登校・多様な学びネットワーク茨城	200,000 円
	不登校・多様な学び つながる「縁」日 2023(県南)	学び推進課
12	花室学楽舎コンサート企画	50,000 円
	尺八とピアノの夏休みライブ	文化芸術課
13	洞峰いきもの SDGs の会	150,000 円
	洞峰自然教室	環境保全課
14	つくばデュプリケートブリッジクラブ	37,000 円
	ブリッジの街つくばを目指して	地域包括支援課
15	つくばねかるた会	150,000 円
	百人一首の世界に触れてみよう！競技かるた体験会	文化芸術課

アイラブつくばまちづくり補助事業一覧

ページ	団体名	補助額
	事業名	担当課
16	とっておきのまちなか音楽会	199,000 円
	第2回とっておきのまちなか音楽会	障害者地域支援室
17	つくば市環境マイスターの会	150,000 円
	筑波山すごろく	環境政策課
18	留学生と地域の市民をつなぐ交流会実行委員会	100,000 円
	留学生と地域の市民をつなぐ交流会～英語が話せなくても国際交流～	国際都市推進課
19	世界音楽の旅つくば発	133,000 円
	～ウクライナの音楽とクリスマス～We Love Music 音楽会	国際都市推進課
20	つくば HSP 自助会	90,000 円
	つくば HSP 自助会	健康増進課
21	つくばパドルテニスクラブ	100,000 円
	パドルテニスを楽しもう	スポーツ振興課
22	桜ニュータウンまつり実行委員会	150,000 円
	第2回桜ニュータウンまつり	市民協働課
23	NPO 法人 GuiNippon Alliance	50,000 円
	相互理解サッカー大会	国際都市推進課
24	七色武士	200,000 円
	どんど焼き 2024	文化財課
25	親子タッチ・タッチキッズ	150,000 円
	親と子の運動遊び タッチ	スポーツ振興課
26	Smile Basketball Club	199,000 円
	バスケットを通じて、障害のある人の繋がりを増やしたい	障害者地域支援室
27	わわわやたべや町民会議	148,000 円
	伊賀七座第10回公演「クリスマス伊賀七vol.4」	周辺市街地振興課

2023年度アイラブつくばまちづくり補助事業
活 動 事 例 集

令和6年（2024年）8月

発行：つくば市市民部市民協働課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL 029-883-1111（代表）

FAX 029-868-7542